

令和5年度 公民館主催事業計画書

令和3年度～5年度公民館事業計画における基本方針

- 1 開かれた公民館
- 2 問いかける公民館
- 3 地域とともに
- 4 地域の中につながりを

公運審提出日 令和5年11月15日

	実施館	事業名	基本方針	期間・回数	事業概要	主な講師等
1	田無	趣味の講座 パンチニードル刺繍ふわふわ モコモコ小物づくり	1 4	令和6年2月15日 2月22日 2月29日 木曜日 14時から16時30分 全3回	同じ目標を持つ仲間と、わからないところを相談したり、仕上がった作品を展示し、お互いの作品を鑑賞するなどして、和気あいあい語り合いながら活動することができるものづくりの場とする。	井上直美（パンチニードル、手織りなどのワークショップを体験できるお店「WOOLY」講師）
2	芝久保	暮らしに役立つ実学講座 ライフスタイルにあう片づけ	1	令和6年1月17日 1月24日 水曜日 10時から12時 全2回	ライフスタイルの変化に合わせて、自分らしくなりたい暮らしを思い描き、日々の暮らしを心地よく過ごすことができる学びの機会にする。	村田美智子（整理収納アドバイザー）
3	芝久保	防災講座 子どもたちと体験しながら身に付けちゃおう！災害を乗り越える力	3	令和6年1月21日 2月4日 2月18日 日曜日 10時から12時 全3回	災害に備えて、日頃からの備えや心構えについて一人ひとりが考える機会とする。	小野修平（ジョージ防災研究所） 鈴木佳代子（料理研究家、防災クッキングアドバイザー）

4	芝久保	<p>【共催事業】 親子おたのしみ企画 ドキ土器考古学 縄文人のお うち探検と土器作りに挑戦！ ※社会教育課との共催</p>	1 3	<p>令和6年2月17日 日曜日 10時から12時 2月23日 祝日・金曜日 9時30分から12時30分 全2回</p>	<p>社会教育課と共催で行い、学びや体験を通して、親子で同じテーマに向き合う機会を提供する。竪穴式住居から縄文人の暮らしや知恵、工夫を学び、縄文土器作りを体験する。</p>	<p>亀田直美（教育部社会教育課文化財係、学芸員）</p>
5	谷戸	健康サークル見学体験会	1 3	<p>令和6年2月5日（月曜日）から 3月15日（金曜日）</p>	<p>参加団体の実施期間中の活動日に事前に申し込んだ見学体験者を受け入れる。</p>	
6	ひばりが丘	<p>【共催事業】 子どもの課題を考える講座 経験者が語る、私の不登校とその後 ※「不登校情報ネットワーク ハートラインにしとうきょう」との共催</p>	2 3	<p>令和6年1月28日 日曜日 13時から16時</p>	<p>不登校を経験した当事者や不登校新聞の取材の話聞くことによって、学校に行けない子どもに対してどのように関わっていけばよいのか、何ができるのかを考える機会とする。</p>	<p>茂手木涼岳（NPO法人全国不登校新聞社編集長） 不登校ラボメンバー</p>
7	ひばりが丘	<p>防災講座 防災芋づる大作戦</p>	1 4	<p>令和6年2月10日 土曜日 2月18日 日曜日 2月25日 日曜日 10時から12時 全3回</p>	<p>・自治会や地域で防災に取り組む中で生じる悩みを出し合い、課題を共有する。 ・地域防災に取り組む自治会の活動実践事例から学ぶ。 ※参加者がそれぞれ防災に関心のない知人や家族を連れて参加し、防災イベントの疑似体験をする。</p>	<p>岡橋かおり（株）イオタ 地域防災アドバイザー、防災講座ぶろっこり主宰） 野呂順正（株）イオタ 地域防災アドバイザー） 竹上恭子（井の頭一丁目町会会長） 西東京レスキューバード</p>

8	ひばりが丘	第15回 ひばりが丘フェスティバル	1 3 4	令和6年3月3日 日曜日 10時から16時	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の利用団体に発表の場を提供することで、活動意欲を高め、活動の幅を広げていく機会とする。 ・参加団体から選出された委員が実行委員会で話し合い、合意形成を図り、フェスティバルを創り上げていくプロセスを経験することで、団体間の関係性を築く機会とする。 ・地域住民が公民館利用者と一緒に発表や展示を楽しみ交流する場、学び合う場を支援する。 	
9	保谷駅前	多文化共生講座 ウクライナ避難民・難民支援から多文化共生・平和を考える	2 4	令和6年1月6日から 1月27日 土曜日 19時から21時 全4回	<p>避難民支援を通して見えてきた多文化共生と平和な社会形成の問題、そして地域での地道な活動が多文化共生社会を実現していくため大切なことを学び、多文化共生社会形成のために私たちができることを考える機会とする。</p>	<p>ウクライナ避難民運営食堂 Nadiyaスタッフ 浮世満理子（全心連ウクライナ心のケア交流センター渋谷ひまわり代表） 生活スポーツ部文化振興課職員 別當紀人（ウクライナ避難民運営食堂Nadiya代表） 加藤 勉（認定NPO法人ピースプロジェクト理事長）</p>